

教員一覧

(2020年4月1日現在)

■所長

井上 章一

風俗史

■副所長

瀧井 一博
松田 利彦

国制史、比較法史
日朝・日韓関係史

■教授

荒木 浩
磯前 順一
伊東 貴之
稲賀 繁美
牛村 圭
大塚 英志
倉本 一宏
フレデリック・クレインズ
関野 樹
坪井 秀人
ジョン・ブリーン
安井 真奈美
山田 奨治
劉 建輝
マルクス・リュッターマン

日本文学
宗教学、批判理論
中国思想史、東アジア比較文化交渉史
比較文学比較文化、文化交流史
比較文学、比較文化論、文明論
まんが表現史、まんが創作論、近代文学史
日本古代史、古記録学
日欧交渉史
情報学
日本近代文学・文化史
日本の近代史
日本民俗学、文化人類学
情報学、文化交流史
日中文化交流史
日本中世社会史・記号論・心性史・言動史

■准教授

磯田 道史
榎本 涉
楠 綾子

日本史学
中世国際交流史
日本政治外交史、安全保障論

■助教

石川 肇
呉座 勇一
白石 恵理
古川 綾子
松木 裕美

日本近代文学
日本中世史
日本美術史
日本芸能史
美術史、芸術学

■特任助教

石上 阿希^{*1}
前川 志織
光平 有希^{*2}

近世文化史
日本近代美術史、デザイン史
音楽療法史



※1 人間文化研究機構 総合人間文化研究推進センター 特任助教
(併任 国際日本文化研究センター 特任助教)

※2 人間文化研究機構 総合情報発信センター 特任助教
(併任 国際日本文化研究センター 特任助教)

交通案内



阪急桂駅(西口)から

- 京都市バス「西5」「西6」で約30分
- 京阪京都交通バス「20」「20B」で約20分
- タクシーで約15分

JR桂川駅から

- ヤサカバス「1」「6」で約30分
- タクシーで約20分
- JR桂川駅までは、JR京都駅から大阪方面行き(普通)に乗車約5分

JR京都駅(烏丸中央口)から

- 京阪京都交通バス「21」「21A」「26」で約45分

バスはいずれも「桂坂中央」行き、「桂坂小学校前」
又は「花の舞公園前」下車で徒歩約5分

〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3丁目2番地
TEL (075) 335-2222(代) / FAX (075) 335-2091

<http://www.nichibun.ac.jp>

表紙: 建築家 内井昭蔵氏による日文研設計時のイメージスケッチ



National Institutes for the Humanities
International Research Center for Japanese Studies

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国際日本文化 研究センター

2020

概要



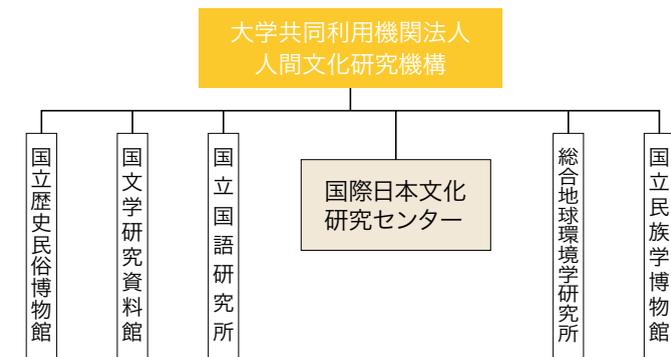
日文研とは

国際日本文化研究センター(以下、日文研)は、日本文化に関する国際的・学際的な総合研究と世界の日本研究者に対する研究協力・支援を行うことを目的として1987年に設置されました。

日文研は、日本の文化・歴史を国際的な連携・協力の下で研究するとともに、外国の日本研究者を支援するという大切な使命をもった大学共同利用機関です。この使命を推し進めるために、国内外から参加する多様な専門領域の共同研究員による、分野横断的な日本文化に関する研究を展開しています。

また、海外から人文・社会科学等の諸分野の研究者を招いて最新の成果や情報に基づく自由で創造的な研究活動を行うとともに、その情報を発信するなど、日文研は、日本研究の国際的拠点としての役割を担っています。

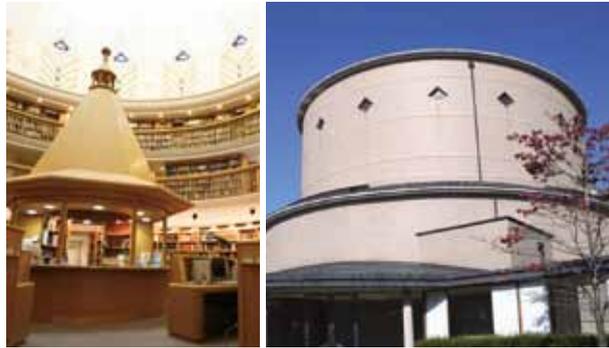
組織



日文研の役割

1. 日文研は、国際的・学際的・総合的な観点から、日本文化に関する研究課題を設け、国内外から参加する様々な分野の研究者による共同研究に取り組んでいます。
2. 共同研究は、「重点共同研究」「国際共同研究」「基幹共同研究」という3領域のもとに、柔軟な組織・運営により推進しています。
3. 世界各地の日本文化の研究者・研究機関に、研究情報を発信するとともに、実情に応じた研究協力を行っています。
4. 研究成果は、和文・英文による図書・学術雑誌、講演会、シンポジウムなど様々な形で広く国際社会に提供しています。
5. 総合研究大学院大学文化科学研究科国際日本研究専攻・博士後期課程では、次代の研究者養成に努めています。また、国内外の大学院生・留学生を受入れて指導しています。

所蔵資料



図書館

日本研究に必要な各種資料を幅広く収集し（図書資料約56万冊）、国内外の研究者の利用に供するとともに、様々な情報を提供しています。利用者は図書を自由に手にとって閲覧することができます。外部の方でも、学術研究・調査等を目的とする場合であれば、事前申請のうえ閲覧が可能です。



Nedzumi no Yome-Iri
(ちりめん本より)
【日文研所蔵】



妖怪四季風俗絵巻(抜粋)
【日文研所蔵】

データベース

日文研は、所蔵する日本研究資料、所員の研究成果をはじめ、他機関所有の日本研究資料などのデータベースを作成しており、現在42種類をウェブで公開しています。※2020年7月1日現在



データベースの一例

活動

研究活動

共同研究

日本文化に関する国際的・学際的なテーマに基づく総合研究を、国内外の研究機関や研究者と協力しながら行っています。既存学問では周辺化されたテーマも取りあげ、また、グローバルな観点から他地域との交流や影響関係を理解することで、人文学のフロンティアを開拓する斬新かつ堅固な研究を目指しています。

基幹研究プロジェクト

人間文化研究機構が第3期中期目標期間（2016年度～2021年度）に掲げるプロジェクトです。日文研では「大衆文化の通時的・国際的研究による新しい日本像の創出」事業等を通じ、国際的な研究ネットワークの再構築と、人間文化の新たな価値体系の創出を目指しています。

「国際日本研究」コンソーシアム

「国際日本研究」や「国際日本学」を掲げる大学院・研究所等を連携させ、海外研究者ネットワークと結びつけることを目指した我が国初の試みです。学術的共同研究、国際ワークショップ等を通じて学問的基盤を構築しながら、若手研究者の育成にも努めています。

研究協力活動

国際研究協力

「海外シンポジウム」を含めた国内外での研究交流ネットワーク形成事業のほか、来日中の外国人研究者による発表・交流の場として「日文研フォーラム」等の各種レクチャー、セミナーを開催しています。

資料の収集・整理・提供

収集する主な資料には次のようなものがあります。

- ・外国語で書かれた日本研究図書
 - ・日本研究関連の文献目録及び映像・音響資料
 - ・海外における日本研究者・研究機関に関する情報
- これらはデータベース化され、広く公開されています。

学術交流協定

国内外の大学・研究機関との組織的共同研究及び研究者交流を推進するため、学術交流協定を随時締結しています。

普及活動

研究成果の出版および情報発信

『日本研究』、『Japan Review』、『日文研叢書』、『Nichibun Monograph Series』、『共同研究報告書』、『日文研』、『NICHIBUNKEN NEWSLETTER』などを「日文研オープンアクセス」で公開しています。

社会貢献

学術講演会、一般公開、日文研フォーラムなどを開催しているほか、地域の小学校への出前事業も実施しています。

◆詳細は日文研ウェブサイトでも発信しています。

共同研究

2020年度 共同研究一覧

(2020年4月1日現在)

研究課題	研究代表者
「運動」としての大衆文化	教授 大塚 英志
応永・永享期文化論 ——「北山文化」「東山文化」という大衆的歴史観のはざまで——	客員准教授 助教 大橋 直義 呉座 勇一
大衆文化と文明開化：幕末から明治への激動期における大衆メディアの位置及び役割	外国人研究員 アリスティア・スウェール
近代東アジア文化史の再構築Ⅰ ——19世紀の百年間を中心に	教授 劉 建輝
文明としてのスポーツ／文化としてのスポーツ	教授 牛村 圭
身体イメージの想像と展開 ——医療・美術・民間信仰の狭間で	教授 安井真奈美 共同研究員 ローレンス・マルソー
東アジアにおける哲学の生成と展開 ——問文化の視点から	外国人研究員 廖 欽彬
帝国のはざまを生きる ——帝国日本と東アジアにおける移民・旅行と文化表象	共同研究員 教授 蘭 信三 松田 利彦
植民地帝国日本とグローバルな知の連環	教授 松田 利彦
蜘蛛の巣上の無明：電子情報網生態系下の身心知の将来	教授 稲賀 繁美
冷戦期における日本外交：「平和国家」の構築を中心に（1952-1972）	外国人研究員 黄 自進
巫俗と占術の現在 ——東アジア世界の民間信仰の伝播と展開	客員准教授 准教授 吉村 美香 榎本 渉
近代東アジアの風俗史	教授 劉 建輝 共同研究員 斎藤 光
「かのように」という原理で形成してきた文通 ——「文書」概念や、その様式、記号、表象、意図性	教授 マルクス・リュッターマン
縮小社会の文化創造： 個・ネットワーク・資本・制度の観点から	教授 山田 奨治
戦後日本の傷跡	教授 坪井 秀人 共同研究員 宇野田尚哉
日本型教育の文明的位相	教授 瀧井 一博
貴族とは何か、武士とは何か	教授 倉本 一宏



最近の日文研出版物



日文研特別公開シンポジウム

2019年度 活動の記録

2020年度の活動についてはお問い合わせ下さい。

*は一般の参加が可能なものです。

活動一覧		
2019年4月	日文研フォーラム* 展示*	ベトナムにおける日本学研究的現在 女・おんな・オンナ ～浮世絵にみる女のくらし（渋谷区立松濤美術館）
6月	「国際日本研究」コンソーシアム主催 国際ワークショップ 日文研・アイハウス 連携フォーラム* 日文研フォーラム*	グローバル・ヒストリーと世界文学 スペイン語圏における日本芸能：その受容とオンライン百科事典の役割 鬼と鬼女と山姥と——山姥と鬼の関係
7月	日文研フォーラム*	越境する民衆宗教 ——大正・昭和前期における大本教と道院・紅卍字会の関係を中心に
9月	日文研フォーラム* 国際新世代ワーク ショップ パンコク サマーセミナー	八幡神、変貌するその姿 Global Network for Gender Studies in Asia (タイ・バンコク)
10月	大衆文化研究国際 ワークショップ・ シリーズ講座 展示* 展示*	「大衆文化の発見」INパリ 映画「旗本退屈男」幻の衣装展（パリ日本文化会館） 草の根のオール・ヌーヴォー：明治期の文芸雑誌と図案教育（京都工芸繊維大学美術工芸資料館）
11月	日文研特別公開 シンポジウム* 日文研フォーラム* 日文研・アイハウス 連携フォーラム*	天皇と皇位継承 ——過去と現在の視座 「旅する記憶」太平洋戦争の記憶と追体験 ——パプアニューギニア戦線を中心に 日文研の30年 ——その批判的・分析的な回顧および展望
12月	展示* 大衆文化研究 プロジェクト・ MANGAlabo7 公開ワークショップ* 「国際日本研究」コンソーシアム主催 環太平洋学術交流会議	メキシコの知られざる大衆漫画「イストリエタ」展 ——民俗文化としての漫画表現—— (京都国際マンガミュージアム) メディア論、メディア表現とファン文化 環太平洋学術交流の可能性
2020年1月	シンポジウム 日文研フォーラム*	怪異・妖怪研究の新時代 ——日文研共同研究を礎に—— 天人女房譚の地域性と国際性 ——韓国との比較を通じて
2月	海外シンポジウム 日文研フォーラム*	On the Heritage of Postcolonial Studies: Translation of the Untranslatable (米国・ニューヨーク) 思想の越境と連鎖 ——尾崎秀実の中国論と「中国農村派」
3月	データベース 新規公開	吉田初三郎式鳥瞰図